

第4回

レジリエンス研究教育推進コンソーシアムシンポジウム

ニューノーマルに拠る  
レジリエンス社会の実現に向けて  
~COVID-19がもたらした気づき~

COVID-19を強制的なきっかけとして予期しなかった広範囲な社会の変化が起きている。こういった変化を適切に想定/分析し、迅速な意思決定によって適応していく必要性がこれまで以上に重要視されている。

本シンポジウムでは今回のCOVID-19により迫ら

れた社会変化への対応の中で用いられた技術やそこから得られたポジティブ/ネガティブな気づき、コロナ禍が続く中でも今後起こりうる大規模災害への対応方法などについてご講演いただき、予測できない変化が起こり続けるニューノーマル時代のレジリエンス社会構築に向け多角的に議論する。

開催日時 2021年 **10月13日** 水 13:30~16:40

開催方法 オンライン (Zoomウェビナー)

参加無料  
要参加申込

総合司会 西出 隆志 氏 筑波大学システム情報系准教授、リスク・レジリエンス工学学位プログラム

〇13:30-13:35 開会挨拶  
佐波 晶 氏 大日本印刷株式会社、筑波大学 准教授 (協働大学院)

第1部 講演

〇13:35-14:05 講演① コロナ禍における健康リテラシーと政策、世論、及び住民行動との関係  
久野 譜也 氏 筑波大学 教授、大学院スポーツウエルネス学学位プログラムリーダー、スマートウエルネスシティ政策開発研究センター長

〇14:05-14:35 講演② コロナ禍を通して見えてきた情報社会インフラの姿とスマートシティへの適用について (仮)  
田中 淳裕 氏 NEC セキュアシステム研究所 所長

〇14:35-15:05 講演③ ニューノーマルで変わるデジタル防災技術  
白田 裕一郎 氏 国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長  
筑波大学 教授 (協働大学院)

第2部 パネルディスカッション

〇15:15-16:30 パネルディスカッション  
「ニューノーマルに拠るレジリエンス社会の実現に向けて  
~COVID-19 がもたらした気づき~」  
モデレーター 遠藤 靖典 氏 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム副会長、  
筑波大学システム情報系教授、システム情報工学研究群長  
登壇者 第1部講演者

〇16:30-16:40 閉会挨拶  
林 春男 氏 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム会長  
国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長



久野 譜也 氏



田中 淳裕 氏



白田 裕一郎 氏

申込締切  
2021年10月12日 火

参加申込QRコード  
[https://r2ec.jp/4th\\_symposium/](https://r2ec.jp/4th_symposium/)



主催：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム

●お問合せ レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局  
(筑波大学システム情報エリア支援室内)

TEL: 029-853-4975 E-mail: r2ec-contact@risk.tsukuba.ac.jp  
参加申込URL : [https://r2ec.jp/4th\\_symposium/](https://r2ec.jp/4th_symposium/)